



学校教育目標「大らかに つよく かしこく」

大塚小だより

～大塚小学校の6つのじまん～
なかよし、歌声、元気、そうじ、あいさつ、読書

令和元年度 11月号
令和元年 11月5日
川越市立大塚小学校
〒350-1129
川越市大塚2丁目10番地1
電話 049-245-2929

心を一つに

校長 遠藤 千絵

10月26日(土)の学校公開日には、多数の方にご来校いただきました。ありがとうございました。子供たちは、音楽会のめあて「心を一つに奏でよう」に向けて頑張りました。今年の音楽会はいかがだったでしょうか。以下は、お話朝会で話した内容です。

←6年合唱「友」：6年生の思いが歌に込められました。

音楽会のめあて「心を一つに奏でよう」がとてもよくできました。音楽会の最後に保護者の方々へ、「音楽には魔法の力が3つある」という話をしました。

一つ目は、成長させる力。指揮者の先生の方をよく見て、友達の声や音と合わせて、演奏できましたね。自信に満ちたカッコいい姿でした。二つ目は、心がつながる力。「頑張る姿が見られてうれしかった、感動した」という声がありました。三つ目は、世界一のコンサート会場と思える力。最後に私が「音楽会はいかがでしたか」と尋ねたら、大きな拍手がこの体育館に響きました。演奏する人も、聴く人もどちらも気持ちよい、つまり、自分もよくて、みんなもよい、すてきな空間を創りましたね。本当に素晴らしかったです。

ところで、「自分もよくて、みんなもよい」、これはとても大切なことですが、毎日過ごしている自分たちの教室ではどうでしょうか。少し考えてみましょう。みなさんに聞きます。「友達を困らせたり、いやなことをしたりしてもよい」と思う人は手を挙げてください。(だれも手を挙げません)では、「友達を困らせたり、いやなことをしてはいけない」と思う人、手を挙げてください。(みんな手を挙げました)みんな、いけないことと思っているのですね。でも、1学期にアンケートをとったときに、困っているとか、友達がいやなことをされているのを見たという人が何人もいました。「いじめ」もそうですが、人を困らせたり、いやなことをしたりしてはいけないと分かっているのに、なぜ、こんなことが起こるのでしょうか。

先生たちがその人たちに聞いてくれて分かったことがあります。それは、相手が困っていたり、いやだと思っていることに気が付いていなかったということです。人はみんな、それぞれ自分の感じ方があります。一緒に過ごしていると他の人も自分と同じように感じると思いがちですが、実は、まったく同じという人はどこにもいません。クラスの友達がどのように感じているかを正しく知ることは意外と難いため、相手に「いやだなあ」と感じさせたとしても、自分はそんなつもりがないから気が付かないということが起こるのです。

みなさんは、どうでしょうか。教室で勉強しているとき、休み時間に遊んでいるとき、給食の準備をするとき、掃除を無言で行うとき、友達を困らせたり、いやな気持ちにさせたりしてはいませんか。

“心を一つに”というのは、とっても難しいことですが、どうすればよいか、二つ話します。一つ目は、「自分さえよければ」というわがままな見方を変えましょう。周りの人や物事とのつながりが見えるようになるとうよいですね。二つ目は、分かり合うために、きちんと自分の思いを伝えましょう。上手に伝える言葉が使えるようになるとうよいと思います。大塚小のどの教室でも、さらに「心を一つに」、クラス全員にとって気持ちよい空間となることを期待しています。

実り多い秋。大塚小学校がさらに豊かな学びの場となるよう、教職員一同も「心を一つに」努めてまいります。



11月15日は、大塚小の開校記念日です。